

アドミッション・ポリシー／畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）

【専攻共通のアドミッション・ポリシー】

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻博士前期課程では、「食の安全確保」をはじめとする農畜産学に関する課題解決能力と幅広い見識を備えた人材を育成するため、以下のような人を学生として求めています。そのために、入学試験では専門と語学に関する筆記試験と研究計画・能力を評価する口述試験を実施します。

- (1) 国際的な視野を持って行動でき、農畜産学に関する高度専門職業人を目指す人。
- (2) 各コースの特定分野に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人。
- (3) 各コースで自ら研究計画を立案できる基礎的知識・技術を身につけている人。
- (4) 獣医・農畜産融合の視点から、食の安全確保・生産性向上・環境保全に関する課題に高い関心を持ち、それらの課題解決に積極的に取り組みたい人。

【コース別のアドミッション・ポリシー】

動物医科学コース	家畜生産科学コース	環境生態学コース	食品科学コース	農業経済学コース	農業環境工学コース	植物生産科学コース
<p>(1) 基礎動物医科学、動物病態学、動物感染症学、病因制御学、動物臨床科学に関する高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ、動物医科学的観点から社会への貢献を目指す人。</p> <p>(2) 基礎生物学や農畜産学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人。</p> <p>(3) 基礎生物学に関する基礎的知識と基本的技術を踏まえて、動物医科学分野で自ら研究計画を立案できる人。</p> <p>(4) 基礎生物学や農畜産学の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人。</p>	<p>(1) 家畜やその生産管理に関する高度な知識と技術、研究能力を身につけ、生命科学や畜産学の観点から社会貢献を目指す人。</p> <p>(2) 家畜生産科学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人。</p> <p>(3) 家畜やその生産管理に関する高度な知識と技術、研究能力を身につけ、家畜生産科学分野で自ら研究計画を立案できる人。</p> <p>(4) 家畜やその生産管理に関する諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人。</p>	<p>(1) 農畜産環境及び自然環境の保全と管理に関する幅広い知識、技術及び研究能力を身につけ、生態学的及び環境科学的観点から社会への貢献を目指す人。</p> <p>(2) 環境生態学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人。</p> <p>(3) 農畜産環境及び自然環境の保全と管理の知識、技術及び研究能力を身につけ、環境生態学分野で自ら研究計画を立案できる人。</p> <p>(4) 農畜産環境及び自然環境の保全と管理の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人。</p>	<p>(1) 農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性に関する高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ、食品科学的観点から社会への貢献を目指す人。</p> <p>(2) 食品科学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人。</p> <p>(3) 農畜産物の加工・利用に関する高度な技術や食品のもつ様々な機能性に関する知識を踏まえて、食品科学分野で自ら研究計画を立案できる人。</p> <p>(4) 食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人。</p>	<p>(1) 食料生産・流通・消費に関わる農業経済学や経営学の幅広い、高度な知識と技術を身につけ、農業経済学的観点から社会への貢献を目指す人。</p> <p>(2) 農業経済学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人。</p> <p>(3) 食料生産・流通・消費に関わる農業経済学や経営学の基礎的な知識と基本的な技術を踏まえて、農業経済学分野で自ら研究計画を立案できる人。</p> <p>(4) 農業経済学及び経営学の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人。</p>	<p>(1) 農業工学的素養を基礎として、環境と調和した生産技術改善と地域環境保全の知識を身につけ、農業環境工学的観点から社会への貢献を目指す人。</p> <p>(2) 農業環境工学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人。</p> <p>(3) 生産技術改善と地域環境保全に関する基礎的な知識と基本的な技術を踏まえて、農業環境工学分野で自ら研究計画を立案できる人。</p> <p>(4) 農業工学的素養を基礎として生産技術と地域環境の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人。</p>	<p>(1) 植物の生理、生態、遺伝や土壌に関する高度な知識をもとにした植物生産の量的・質的向上の高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ、植物生産科学的観点から社会への貢献を目指す人。</p> <p>(2) 植物生産科学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人。</p> <p>(3) 栽培植物の改良や生産と土壌及び病害虫に関する知識や技術を踏まえて、植物生産科学分野で自ら研究計画を立案できる人。</p> <p>(4) 植物生産の量的・質的向上の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人。</p>